



ライセンスの管理

Cisco Crosswork Planning は、シスコスマートライセンスをサポートしています。Cisco Crosswork Planning のすべての機能を使用するには、ライセンスが必要です。ライセンスの取得について質問がある場合は、シスコのサポート担当者またはシステム管理者にお問い合わせください。

この章は次のトピックで構成されています。

- [シスコ スマートライセンシングの概要 \(1 ページ\)](#)
- [ワークフロー：スマートライセンシングの設定 \(2 ページ\)](#)
- [Cisco Crosswork Planning とCSSM 間のトランスポートモードの設定 \(2 ページ\)](#)
- [トークンを介した Cisco Crosswork Planning の登録 \(4 ページ\)](#)
- [オフライン予約による Cisco Crosswork Planning の登録 \(8 ページ\)](#)
- [ライセンス数の更新 \(11 ページ\)](#)
- [ライセンス認証ステータス \(13 ページ\)](#)

シスコ スマートライセンシングの概要

シスコ スマート ライセンシングは、シスコ ポートフォリオ全体および組織全体でソフトウェアをより簡単かつ迅速に一貫して購入および管理できる柔軟なライセンスモデルです。また、これは安全です。ユーザーがアクセスできるものを制御できます。スマートライセンスを使用すると、次のことが可能になります。

- **簡単なアクティベーション**：スマートライセンスは、組織全体で使用できるソフトウェアライセンスのプールを確立します。PAK（製品アクティベーションキー）は不要です。
- **管理の統合**：My Cisco Entitlements（MCE）は、使いやすいポータルですべてのシスコ製品とサービスの完全なビューを提供するので、取得したもの、使用しているものを常に把握できます。
- **ライセンスの柔軟性**：ソフトウェアはハードウェアにノードロックされていないため、必要に応じてライセンスを簡単に使用および転送できます。

ワークフロー：スマートライセンシングの設定

Cisco Smart Licensing の設定手順の概要は次のとおりです。

表 1: スマートライセンシング設定のワークフロー

手順	操作
1. Cisco Software Central (software.cisco.com) でスマートアカウントを設定します。	「 Smart Account Request 」に移動し、Web サイトの指示に従います。
2. (オプション) 転送設定を構成します。	Cisco Crosswork Planning とCSSM 間のトランスポートモードの設定 (2 ページ) 。
3. Cisco Crosswork Planning を Cisco Smart Software Manager (CSSM) に登録します。	参照先 : <ul style="list-style-type: none"> • トークンを介した Cisco Crosswork Planning の登録 (4 ページ) • オフライン予約による Cisco Crosswork Planning の登録 (8 ページ)

Cisco スマートアカウントは、スマート対応製品のリポジトリを提供し、シスコライセンスの有効化、ライセンスの使用状況の監視、およびシスコ製品購入の追跡を可能にします。**Cisco Smart Software Manage (CSSM)**を使用すると、一元化された1つの Web サイトから Cisco スマートソフトウェアのすべてのライセンスを管理できます。**Cisco Smart Software Manager**では、ライセンスを管理するためにスマートアカウント内で複数のバーチャルアカウントを作成および管理できます。シスコライセンスの詳細については、cisco.com/go/licensingguideを参照してください。

Cisco Crosswork Planning UI のメインメニューから、[ライセンス (Licensing)] を選択します。[スマートライセンス (Smart License)] ページが開きます。このページで、Cisco Crosswork Planning の登録、トランスポート設定の編集、ライセンスの更新、アプリケーションの登録解除を行うことができます。

Cisco Crosswork Planning と CSSM 間のトランスポートモードの設定

トランスポート設定を構成して、Cisco Crosswork Planning の CSSM との通信方法を決定できます。

- [直接 (Direct)] : Cisco Crosswork Planning は CSSM に直接接続します。

- [トランスポートゲートウェイ (Transport Gateway)] : Cisco Crosswork Planning は、トランスポートゲートウェイ、またはクラウドベースとユーザーエクスペリエンスが同じながらもオンプレミスにすべての通信を保持する CSSM オンプレミスオプションを介して通信します。CSSM オンプレミスオプションの詳細については、『[Smart Software Manager guide](#)』を参照してください。



(注) Cisco Crosswork Planning は SmartTransport URL のみをサポートします。URL の形式は `http://<SSM-ONPREM-IP>/SmartTransport` です。

- [HTTP/HTTPSプロキシ (HTTP/HTTPS Proxy)] : Cisco Crosswork Planning は、プロキシが設定されている場合、設定されたプロキシを介してダイレクトモードエンドポイントと通信します。



(注) トランスポート設定は、Cisco Crosswork Planning 製品が登録済みモードになっている間には変更できません。変更するには登録を解除する必要があります。

手順

ステップ 1 メインメニューから、[ライセンス (Licensing)] を選択します。[スマートライセンス (Smart License)] ページが開きます。

ステップ 2 [トランスポート設定 (Transport settings)] フィールドに、現在選択されているトランスポートモードが表示されます。変更するには、[表示/編集 (View/Edit)] をクリックします。[トランスポート設定 (Transport settings)] ダイアログボックスが表示されます。

図 1: [トランスポート設定 (*Transport Settings*)] ダイアログボックス

Transport settings ×

Configure how the product will communicate with Cisco. Note that this setting is shared with smart call home, so any changes made here will apply to other features using this service.

Direct - Product communicates directly with Cisco's licensing servers. ⓘ

Transport Gateway - Proxy data via transport gateway or CSSM on-prem (satellite).

URL

HTTP/HTTPS Proxy - Send data via an intermediate HTTP or HTTPS proxy.

IP Address

Port

Username

Password Show

ステップ3 関連するトランスポートモードを選択し、表示されたフィールドに関連するエントリを入力します。

ステップ4 [保存 (Save)]をクリックします。

トークンを介した Cisco Crosswork Planning の登録

ライセンス機能を有効にするには、登録 ID トークンを使用して Cisco Crosswork Planning アプリケーションを CSSM に登録する必要があります。登録されると、ID 証明書はスマートアカウントに安全に保存され、進行中のすべての通信に使用されます。証明書は1年間有効で、6ヵ月後に自動的に更新されて継続的な運用が保証されます。



(注) 登録トークンの生成については、[Cisco Software Central](#) の Web ページで提供されているサポートリソースを参照してください。

始める前に

スマートアカウントがあることを確認します。ない場合、「[Smart Account Request](#)」に移動し、Web サイトの指示に従います。

手順

ステップ1 メインメニューから、[ライセンス (Licensing)]を選択します。登録ステータスとライセンス認証ステータスは、それぞれ [未登録 (Unregistered)]と [評価 (Evaluation)]モードになります。

図 2: スマートソフトウェアライセンスの未登録の例

i To register your Cisco Crosswork Planning application with Cisco smart licensing:

- Ensure that the product has access to the internet or on-premise Cisco smart software manager installed on your network. This might require you to edit [Transport Settings](#).
- Log in to your smart account in [Cisco Smart Software Manager](#) or your on-premise Cisco smart software manager.
- Navigate to the virtual account containing the licenses to be used by this product instance.
- Generate a product instance registration token (this identifies your smart account), and copy or save it.

[Register](#) Smart Software Licensing

Smart software licensing status

Registration status ⚠ Unregistered

License authorization status ⚠ Evaluation mode (90 days, 0 hr, 0 min, 0 sec remaining)

Export-controlled functionality Not allowed

Transport settings Direct [View / Edit](#)

Smart license usage

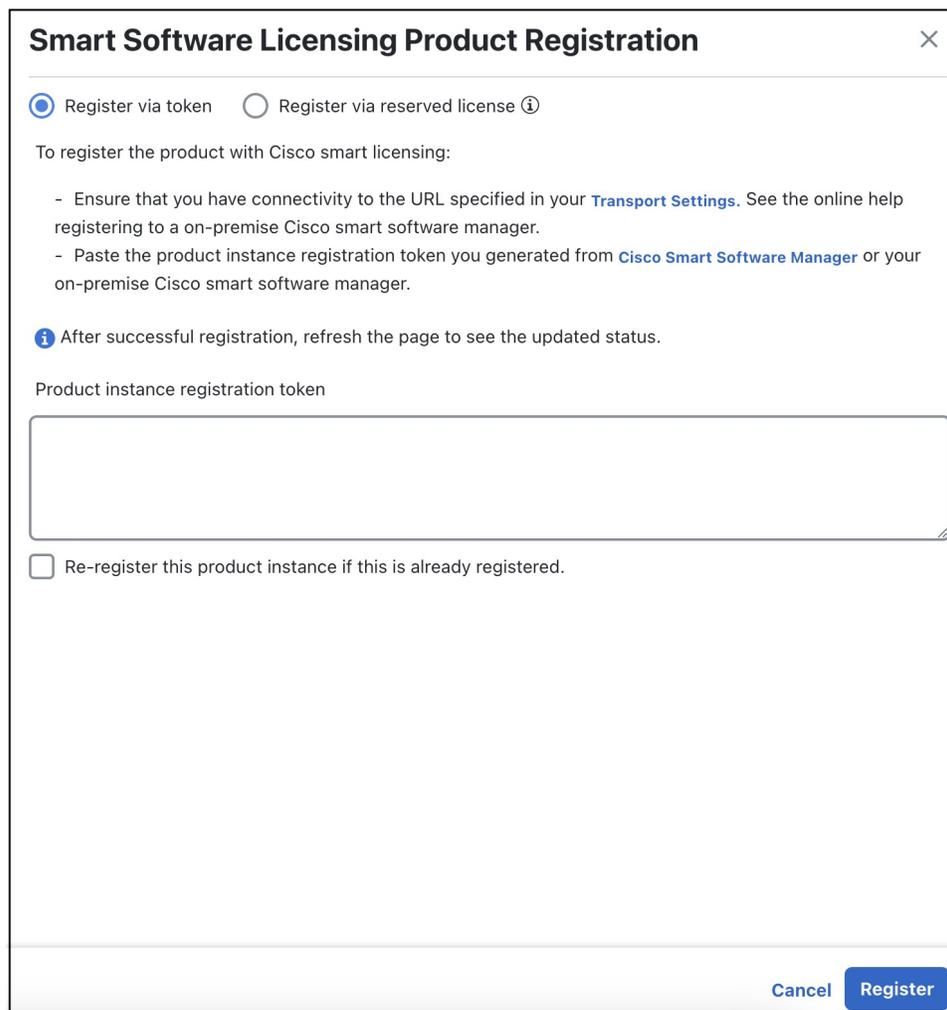
[Update license count](#)

License	Description	Count
CP_RTM_ESS	CP Essentials RTM	100

ステップ 2 上部の [スマートソフトウェアライセンシング (Smart Software Licensing)] 情報ボックスで、[登録 (Register)] をクリックします。

[スマートソフトウェアライセンス製品の登録 (Smart Software Licensing Product Registration)] ダイアログボックスが表示されます。

図 3: [スマートソフトウェアライセンス製品登録 (Smart Software Licensing Product Registration)] ダイアログボックス



Smart Software Licensing Product Registration [X]

Register via token Register via reserved license ⓘ

To register the product with Cisco smart licensing:

- Ensure that you have connectivity to the URL specified in your [Transport Settings](#). See the online help registering to a on-premise Cisco smart software manager.
- Paste the product instance registration token you generated from [Cisco Smart Software Manager](#) or your on-premise Cisco smart software manager.

i After successful registration, refresh the page to see the updated status.

Product instance registration token

Re-register this product instance if this is already registered.

[Cancel](#) [Register](#)

ステップ 3 [製品インスタンス登録トークン (Product instance registration token)] フィールドに、スマートアカウントから生成された登録トークンを入力します。トークンIDが正確で、有効期間内であることを確認します。

ステップ 4 (オプション) アプリケーションを再登録する場合は、[すでに登録されている場合はこの製品を再登録します (Re-register this product registration if is already registered)] チェックボックスをオンにします。

ステップ 5 [登録 (Register)] をクリックします。登録の処理には数分かかる場合があります。成功すると、「製品登録が正常に完了しました (Product Registration completed successfully) 」というメッセージが表示されます。

登録ステータスとライセンス認証ステータスは、それぞれ [登録済み (Registered)] と [承認済み (Authorized)] に更新されます。

(注)

- 要求が成功するまでに少なくとも 20 秒かかります。最初の 20 秒以内にバックエンドから正しい応答が得られない場合、UI は最大 5 分間、10 秒ごとにチェックを続けます。5 分経過しても応答が得られない場合は、一般的なエラーメッセージが表示されます。

- 登録エラー（「通信送信エラー」や「ライセンスクラウドからの無効な応答」など）が発生した場合は、しばらく待ってから登録を再試行してください。複数回試行してもエラーが続く場合は、シスコカスタマーエクスペリエンス チームにお問い合わせください。
- 場合によっては、登録が成功した後に更新されたステータスを表示するには、ページを手動で更新する必要があります。

ライセンスアクションの手動での実行

Cisco Crosswork Planning に対して、登録および認証の更新はデフォルトで自動的に有効になっています。ただし、アプリケーションとシスコサーバー間の通信障害が発生した場合は、これらのアクションを手動で開始できます。[アクション (Actions)] ドロップダウンボタンを使用して、アプリケーションを手動で更新、再登録、および登録解除できます。

始める前に

アプリケーションが登録済みモードであることを確認します。

手順

ステップ 1 メインメニューから、[ライセンス (Licensing)] を選択します。[スマートライセンス (Smart License)] ページが表示されます。

ステップ 2 [アクション (Actions)] ドロップダウンボタンをクリックし、次のクイックアクションに関連するオプションを選択します。

- a) [アクション (Actions)] > [認証の更新 (Renew Authorization)] : 30 日の終わりに自動更新サービスが失敗した場合に手動で認証を更新します。
- b) [アクション (Actions)] > [登録の更新 (Renew Registration)] : 6 か月の終わりに自動更新サービスが失敗した場合に手動で登録を更新します。
- c) [アクション (Actions)] > [再登録 (Re-register)] : 登録トークンの期限切れなどの理由で、アプリケーションを再登録します。
- d) [アクション (Actions)] > [登録解除 (De-register)] : トランスポート設定を変更する必要があるなどの場合に、アプリケーションの登録を解除します。

(注)

登録が解除されると、アプリケーションは [評価 (Evaluation)] モード (評価期間がある場合) または [評価期限切れ (Evaluation Expired)] モードに移行します。詳細については、[ライセンス認証ステータス \(13 ページ\)](#) を参照してください。

オフライン予約による Cisco Crosswork Planning の登録

スマートライセンスが使用されている場合、Cisco Crosswork Planning は使用状況情報を CSSM と定期的に共有します。CSSM に定期的に接続したくない場合は、Cisco Smart Licensing にオフライン予約のオプションが用意されています。

始める前に

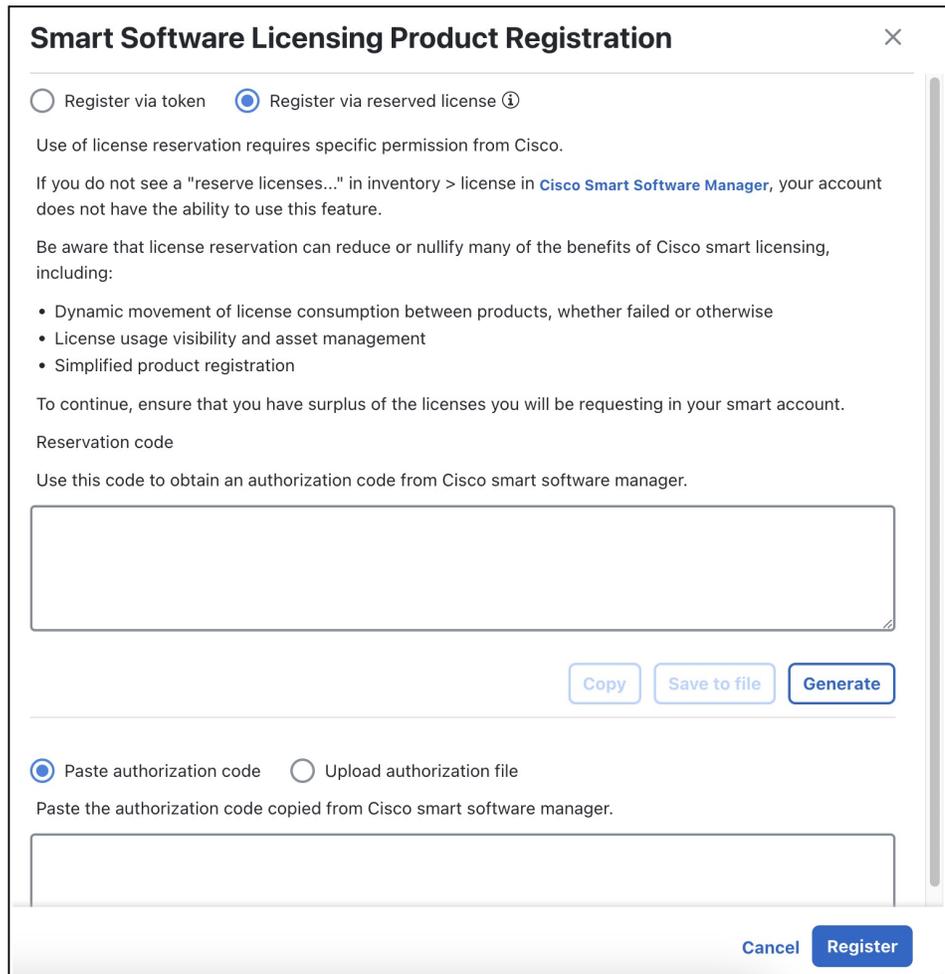
スマートアカウントがあることを確認します。ない場合、「[Smart Account Request](#)」に移動し、Web サイトの指示に従います。

手順

-
- ステップ 1** メインメニューから、[ライセンス (Licensing)] を選択します。
 - ステップ 2** 上部の [スマートソフトウェア ライセンシング (Smart Software Licensing)] 情報ボックスで、[登録 (Register)] をクリックします。

[スマートソフトウェア ライセンス製品の登録 (Smart Software Licensing Product Registration)] ダイアログボックスが表示されます。
 - ステップ 3** [予約済みライセンスで登録 (Register via reserved license)] オプションを選択します。

図 4: [スマートソフトウェアライセンス製品登録 (Smart Software Licensing Product Registration)] ダイアログボックス



The dialog box is titled "Smart Software Licensing Product Registration" and has a close button (X) in the top right corner. It contains two radio buttons: "Register via token" (unselected) and "Register via reserved license" (selected). Below the radio buttons is a warning message: "Use of license reservation requires specific permission from Cisco. If you do not see a 'reserve licenses...' in inventory > license in Cisco Smart Software Manager, your account does not have the ability to use this feature. Be aware that license reservation can reduce or nullify many of the benefits of Cisco smart licensing, including: • Dynamic movement of license consumption between products, whether failed or otherwise • License usage visibility and asset management • Simplified product registration To continue, ensure that you have surplus of the licenses you will be requesting in your smart account." Below this is a section for "Reservation code" with a text input field and three buttons: "Copy", "Save to file", and "Generate". At the bottom, there are two radio buttons: "Paste authorization code" (selected) and "Upload authorization file" (unselected). Below them is another text input field and two buttons: "Cancel" and "Register".

- ステップ 4** [予約コード (Reservation code)] セクションの下にある [生成 (Generate)] ボタンをクリックします。予約要求コードが生成され、テキストフィールドに入力されます。[コピー (Copy)] ボタンを使用してこのコードをコピーします。
- ステップ 5** CSSM に移動し、適切なバーチャルアカウントを選択します。
- ステップ 6** [ライセンス (Licenses)] タブをクリックし、[ライセンス予約 (License Reservation)] をクリックします。手順 3 で生成した予約要求コードを貼り付けて、[次へ (Next)] をクリックします。
- ステップ 7** [ライセンスの選択 (Select Licenses)] ページで、必要な予約のタイプを選択します。次に、[Next] をクリックします。
- ステップ 8** [レビューと確認 (Review and Confirm)] ページで [認証コードの生成 (Generate Authorization Code)] をクリックします。[クリップボードにコピー (Copy to Clipboard)] ボタンを使用してコードをコピーします。
- ステップ 9** Cisco Crosswork Planning UI の [スマートソフトウェアライセンス製品の登録 (Smart Software Licensing Product Registration)] ページに戻ります。[認証コードを貼り付ける (Paste authorisation code)] オプションボタンを選択して、テキストフィールドに承認コードを貼り付けます。

- ステップ10** [登録 (Register)] をクリックします。登録の処理には数分かかる場合があります。
- 登録ステータスとライセンス認証ステータスは、それぞれ [登録済み (Registered)] と [承認済み (Authorized)] に更新されます。

オフライン予約の更新

[予約の更新 (Update Reservation)] オプションを使用して、オフライン予約で予約されたライセンス数を更新します。

手順

-
- ステップ1** メインメニューから、[ライセンス (Licensing)] を選択します。製品インスタンス名を書き留めます ([スマートソフトウェアライセンシングのステータス (Smart Software Licensing Status)] セクションにあります)。
- ステップ2** CSSM に移動し、適切なバーチャルアカウントを選択します。
- ステップ3** [製品インスタンス名 (Product Instance Name)] に一致する製品インスタンスの名前をクリックします。
- ステップ4** この製品インスタンスに対応する [アクション (Actions)] ドロップダウンボタンをクリックし、[予約の更新 (Update Reservation)] を選択します。
- ステップ5** [ライセンスの選択 (Select Licenses)] 画面で、[特定のライセンス予約 (Reserve a Specific License)] オプションボタンを選択し、リストから必要なライセンスの数を更新して、[次へ (Next)] をクリックします。
- ステップ6** [レビューと確認 (Review and Confirm)] ページで [認証コードの生成 (Generate Authorization Code)] をクリックします。[クリップボードにコピー (Copy to Clipboard)] ボタンを使用してコードをコピーします。
- ステップ7** Cisco Crosswork Planning UI の [スマートライセンス (Smart License)] ページに戻ります。[アクション (Actions)] ドロップダウンボタンをクリックし、[予約の更新 (Update Reservation)] を選択します。前の手順で生成した認証コードを貼り付け、[更新 (Update)] をクリックします。
- 確認コードが生成されます。[スマートソフトウェアライセンシングのステータス (Smart Software Licensing Status)] セクションで確認できます。このコードをコピーします。
- ステップ8** CSSM に戻ります。必要な製品インスタンス名をクリックします。
- ステップ9** [アクション (Actions)] ドロップダウンボタンをクリックし、[確認コードの入力 (Enter Confirmation Code)] を選択します。
- ステップ10** 手順7で生成された予約確認コードを入力/貼り付けて、[OK] をクリックします。
- ライセンス数は、Cisco Crosswork Planning UI の [スマートライセンス (Smart License)] ページで更新されます。

オフライン予約の無効化

[予約の返却 (Return Reservation)] オプションを使用して、予約済みのライセンスをリリースします。ライセンスがリリースされると、アプリケーションは[評価 (Evaluation)] モード (評価期間がある場合) または [評価期限切れ (Evaluation Expired)] モードに移行します。詳細については、[ライセンス認証ステータス \(13 ページ\)](#) を参照してください。

手順

- ステップ 1** メインメニューから、[ライセンス (Licensing)] を選択します。製品インスタンス名を書き留めます ([スマートソフトウェアライセンシングのステータス (Smart Software Licensing Status)] セクションにあります)。
- ステップ 2** [アクション (Actions)] ドロップダウンボタンをクリックし、[予約の返却 (Return Reservation)] を選択します。
- ステップ 3** [予約の返却の確認 (Confirm Return Reservation)] ウィンドウで、[確認 (Confirm)] をクリックします。リリースコード (予約リターンコード) が生成されます。[コピー (Copy)] ボタンを使用してこのコードをコピーします。
- ステップ 4** CSSM に移動し、適切なバーチャルアカウントを選択します。
- ステップ 5** [製品インスタンス名 (Product Instance Name)] に一致する製品インスタンスの名前をクリックします。
- ステップ 6** この製品インスタンスに対応する [アクション (Actions)] ドロップダウンボタンをクリックし、[削除 (Remove)] を選択します。
- ステップ 7** [予約の削除 (Remove Reservation)] ポップアップで、手順 3 で生成した予約リターンコードを貼り付け、[予約の削除 (Remove Reservation)] をクリックします。
Cisco Crosswork Planning UI の [スマートライセンス (Smart License)] ページで、登録ステータスが [未登録 (Unregistered)] に更新されます。
- ステップ 8** Cisco Crosswork Planning UI で [スマートライセンス (Smart License)] ページに戻ります。[アクション (Actions)] ドロップダウンボタンをクリックし、[ライセンス予約の無効化 (Disable License Reservation)] を選択します。

ライセンス数の更新

Cisco Crosswork Planning では、要件に応じて使用するライセンスの数を入力できます。バーチャルアカウントに十分な数のライセンスがあることを確認します。ライセンス数が不足していると、コンプライアンス違反となります。

Cisco Crosswork Planning Design アプリケーションの各ツールが正しく機能するには、適切な数のライセンスが必要です。ライセンス数を更新するには、次の手順を実行します。

手順

ステップ 1 メインメニューから、[ライセンス (Licensing)] を選択します。

ステップ 2 [ライセンスの使用状況 (License usage)] セクションで、[ライセンス数の更新 (Update license count)] をクリックします。

[ライセンス数の更新 (Update License Count)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 3 [変更後の数 (Modified count)] 列に必要なライセンス数を入力します。

図 5: ライセンス数の更新

License	Description	Count	Modified count
CP_RTM_ESS	CP Essentials RTM	1000	<input type="text"/>
CP_RTU_ESS	CP Essentials RTU	1000	<input type="text"/>
CP_RTU_ADV	CP Advantage RTU	1000	<input type="text"/>

Cisco Crosswork Planning には、3 種類のライセンスがあります。

- **CP_RTM_ESS** : 1 つのライセンスを使用するか、ネットワーク内のノード数と同じ数のライセンスを使用するかを選択できます。Cisco Crosswork Planning Collector アプリケーションは、使用可能なライセンスが 1 つしかない場合でも機能します。ただし、Cisco Crosswork Planning Design アプリケーションの場合、カウントはネットワーク内のノード数と一致する必要があります。これは、ツールとイニシャライザが正しく機能するために必要です。
- **CP_RTU_ESS** : カウントを 1 にして、Cisco Crosswork Planning Collector と Design の両方のアプリケーションを正しく機能させることができます。
- **CP_RTU_ADV** : カウントを 1 にして、Cisco Crosswork Planning Collector と Design の両方のアプリケーションを正しく機能させることができます。

ステップ 4 [保存 (Save)] をクリックします。

ライセンス認証ステータス

登録ステータスに基づいて、次のライセンス認証ステータスが表示されます。

表 2: ライセンス認証ステータス

登録ステータス	ライセンス認証ステータス	説明
未登録	評価モード (Evaluation mode)	アプリケーションのライセンス機能を自由に使用できる 90 日の評価期間。この状態は、アプリケーションを初めて使用するときを開始されます。
	評価期限切れ (Evaluation Expired)	評価期間の終了時にアプリケーションが正常に登録されませんでした。この状態の間、アプリケーション機能は無効になります。アプリケーションを使用し続けるには、登録する必要があります。
	登録期限切れ (Registered Expires)	アプリケーションは、アイデンティティ証明書の有効期限が切れる前に CSSM に接続できず、未登録状態に戻りました。残りの評価期間がある場合、アプリケーションは再開します。この段階では、アプリケーションを再登録するために新しい登録 ID トークンが必要です。
登録済み	承認済み (準拠) (Authorized (In Compliance))	アプリケーションは、予約済みのライセンス機能の使用を完全に許可されています。認証は 30 日ごとに自動的に更新されます。
	コンプライアンス違反 (Out of Compliance)	アプリケーションの現在の機能を使用するために予約できる十分なライセンスが関連付けられたバーチャルアカウントにありません。アプリケーションを引き続き使用するには、トークンに登録されている権限/使用制限を更新する必要があります。
	認証が期限切れ (Authorization Expired)	アプリケーションが 90 日以上 CSSM と通信できず、認証の有効期限が切れています。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。